

山鹿中学校便り 統合元年 新生山中 一致協働

令和元年7月19日(金) No.7

7月19日(金)3校時、1学期の終業式を行いました。各学年及び生徒会代表の1学期の反省の後、校長式辞を述べました。話の概要は、以下のとおりです。

今年度の山鹿中の合言葉は、「統合元年」、「新生山中」、「一致協働」です。まず、「統合元年」。2つ中学校の伝統を大切にしながら新しい伝統を創造してほしいとの思いがありました。まず四月八日の統合式で両校の校歌斉唱がありました。鶴城中からきた生徒達にとってはありがたいことでした。また、「統合元年」の思いを見事に反映した取組が生徒会のスローガン「糸」の提案でした。独創的な文字、すばらしいアイデアです。これからも生徒会が中心となってみんな仲良く助け合って、心もしっかり統合してほしいと願っています。

次に、「新生山中」。5月19日に行われた体育大会の女子のダンスでは、伝統の「山鹿灯籠踊り」に加え、鶴城中伝統のよさこいソーランを取り入れ、さらに、太鼓部との競演も実現することができました。大変嬉しく、誇らしく思いました。これからも「新生山中」としてこれまで以上に強い山中を目指し、他の中学校からうらやましがられるような学校、自慢できることがたくさんある学校、簡単にあきらめない、絶対にあきらめない粘り強い学校、学力が高い学校、部活動が強い学校、挨拶が抜群にいい学校もしてほしいと願っています。

最後に、「一致協働」。「一致」とは、心を合わせ、きまりやルール、みんなで決めたことを全員で実行すること。そして、強い山中を作るという目的に向かって、それぞれの立場で役割を担いながら、協力して行動したり、働いたりすることです。山鹿市中学校総合体育大会では、団体競技として昨年度を上回る8つの優勝旗を手にすることができました。これは、各部活動が目標をしっかりともち、日々の練習を懸命に行ってきたからだと思います。正に一致協働の成果であると思います。ぜひ、県中体連大会他各種大会において、他校に負けないチームワークで勝負してほしい。「一致協働」の精神で目標を達成してほしいと期待しています。

ただ、反省点もあります。先生方に1学期の反省でいくつかの項目を評価していただきましたが、とても評価の低いものが3つありました。一つは、他者の人権を大切にされた適切な言葉遣い、二つ目に、いじめや不登校ゼロに向けたよりよい人間関係づくり、もう一つは、あいさつが気持ち良い、よく挨拶をしてくれるという地域の方や保護者の声が増えたです。ぜひ、2学期には克服できるよう一致協働してほしいと思います。いよいよ明日から夏休みに入ります。3年生は、希望する進路実現のために計画的に学習してください。高校に入ってから苦労しないようしっかり学力を蓄えましょう。2年生は、職場体験で感じたことを生かし、将来の夢の実現に向けて課題克服の学習に取り組んでください。1年生は、集団宿泊教室で学んだ集団行動の大切さを生かし、ルールを守り規則正しい生活を心掛けてください。

最後に、女子生徒の皆さんにお願いがあります。山鹿千人灯籠踊りの踊り手の募集についてです。この祭りに出るのは山鹿に生まれ、山鹿中に通う女子生徒の特権です。ぜひ、おうちの人と相談してたくさんの人に出演してほしいと思います。よろしくお願いします。